



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 光通信
コード番号 9435 URL <http://www.hikari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 剛史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 儀同 康

TEL 03-5951-3718

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	324,132	31.0	△1,677	—	△2,296	—	△1,228	—
22年3月期第3四半期	247,511	8.0	4,511	△58.4	3,330	△69.8	1,730	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△22.72	—
22年3月期第3四半期	30.68	30.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	219,626	108,009	45.5	1,874.45
22年3月期	217,552	114,046	49.2	1,967.93

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 99,939百万円 22年3月期 107,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	20.3	5,000	30.0	5,000	77.5	3,000	297.0	55.69

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、(添付資料)5ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)、 除外 一社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 58,349,642株 22年3月期 58,349,642株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 5,032,850株 22年3月期 3,935,167株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 54,049,895株 22年3月期3Q 56,407,217株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。従いまして、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(第3四半期連結会計期間)	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
(7) 後発事象に関する注記	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日～平成22年12月31日）における我が国経済は、一部の消費について明るい兆しが見えつつあるものの、雇用情勢は冷え込んだままであり、企業の経営環境の先行きははまだ不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは前連結会計年度に引き続き、安定的な利益成長の源泉となるストックコミッション※の積上げを経営の最重要課題とし、特に販売パートナーを中心とした販売網の拡大と顧客単価を増大させるための商材の開発及び販売に注力することにより、将来に渡って得られる継続的な収益の増大に努めてまいりました。注力する自社商材や通信サービスにおきましては、保有顧客数の拡大とともにストックコミッションが順調に積みあがってきております。その一方で、販売件数をより積極的に増加させていることから、販売時の顧客獲得費用が引き続き先行して発生しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）の業績は、売上高が114,263百万円、営業損失が144百万円、経常損失が2百万円、税金等調整前四半期純利益が107百万円、四半期純利益が735百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）の業績は、売上高が324,132百万円、営業損失が1,677百万円、経常損失が2,296百万円、税金等調整前四半期純損失が1,364百万円、四半期純損失が1,228百万円となりました。

なお、第4四半期連結会計期間におきましては、年間の販売件数に応じて得られるボリュームコミッションを見込んでおります。

※ストックコミッションとは、ユーザーが毎月支払う基本契約・使用料金に応じて計算され、加入契約後、一定期間にわたって毎月通信キャリア、保険会社などから受け取る手数料

（単位：百万円）

	平成23年3月期 第3四半期連結会計期間 (2010.10.1～2010.12.31)	平成23年3月期 第3四半期連結累計期間 (2010.4.1～2010.12.31)	(参考)平成22年3月期 第3四半期連結累計期間 (2009.4.1～2009.12.31)
売上高	114,263	324,132	247,511
営業利益（△損失）	△144	△1,677	4,511
経常利益（△損失）	△2	△2,296	3,330
税金等調整前四半期純利益 （△損失）	107	△1,364	3,149
四半期純利益（△損失）	735	△1,228	1,730

〈当第3四半期のセグメント別の状況〉

【法人事業】

法人事業におきましては、OA機器を中心とした訪問販売、固定通信やブロードバンド回線などの通信回線サービス、携帯電話等の情報通信サービスの取次ぎ・販売、法人向けソリューションサービス等を行っております。当社グループがメイン顧客とする中小企業は、収益改善の兆しが見られつつあるものの、景気判断の先行きについては慎重な見方をする企業が多い中で、当社グループは全国に広がる販売網および多種多様且つ高品質な商材・サービスの取扱いを通じて、お客様に対して業務効率向上とコスト適正化の提案を行ってまいりました。

また、固定通信市場におけるブロードバンドサービスの拡大により、光アクセス、高速通信回線、モバイル等通信手段の多様化が進み事業環境が急速に変化していくなかで、サービス競争は新たな局面を迎えております。

当第3四半期連結会計期間におきましては、注力する自社商材や通信サービスは、保有顧客数の拡大とともにストックコミッションが順調に積みあがってきております。その一方で、販売件数をより積極的に増加させていることから、販売時の顧客獲得費用が引き続き先行して発生しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）における法人事業の売上高は46,331百万円、営業損失は2,078百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）における法人事業の売上高は131,763百万円、営業損失は6,131百万円となりました。

【SHOP事業】

SHOP事業におきましては、全国で展開する店舗を主な販路とした携帯電話端末や周辺機器、コンテンツ等の販売を行っております。

モバイル市場におきましては、携帯電話端末の買い替えサイクル長期化や市場の飽和が進む中で、スマートフォンなどの多種多様な高機能端末の需要が拡大しており、店舗における顧客サービスの品質向上とともに、スマートフォンなどの高機能端末への積極的な取替を行っております。コンテンツ市場は毎年右肩上がりの成長を続けており、今後も更なる市場拡大が予想されます。このような状況の中、当社グループは、引き続き販売網の拡大に努めた結果、店舗数が2,007店舗（前年同期比14.6%増）、ストックコミッションの対象となる保有台数が278万台（前年同期比18.3%増）と大幅に増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）におけるSHOP事業の売上高は65,270百万円、営業利益は2,480百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）におけるSHOP事業の売上高は184,093百万円、営業利益は5,732百万円となりました。

【保険事業】

保険事業におきましては、コールセンターを中心とする販売網および当社グループの強みである販売力を活かし、全国のお客さまに対して保険商品のご提案を行っております。

当第3四半期連結会計期間におきましては、前連結会計年度中に崩れた収益バランスの立て直しが計画通り進んでおり、緩やかに業績が回復しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）における保険事業の売上高は2,150百万円、営業利益は186百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）における保険事業の売上高は6,569百万円、営業利益は952百万円となりました。

【メディア広告事業】

第1四半期連結会計期間より、これまで法人事業に含んでおりました、メディア広告事業を新たなセグメントとして追加しております。

メディア広告事業におきましては、主に上場子会社であるe-まちタウングループを通じて、モバイル広告を中心とした広告枠の仕入れ及び販売とサイト運営をメインに事業を展開しております。

広告枠の仕入れ・販売に関しては、大手広告代理店によるモバイル広告事業への本格参入で競争が激化したものの、クライアント数は堅調に推移しております。サイト運営におきましては、全国316ヶ所を数える地域情報ポータルサイト「e-まちタウン」の優位性を活かしながら、粗利率の高い自社メディア強化により収益の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）におけるメディア広告事業の売上高は1,278百万円、営業利益は94百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）におけるメディア広告事業の売上高は3,882百万円、営業利益は329百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

	前連結会計年度末	当第3四半期連結会計期間末	増減
	百万円	百万円	百万円
総資産	217,552	219,626	2,074
負債	103,505	111,617	8,112
純資産	114,046	108,009	△6,037

総資産は、携帯電話の好調な販売活動によるたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて2,074百万円増加の219,626百万円となりました。

負債は、社債の発行等により、前連結会計年度末に比べて8,112百万円増加の111,617百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得や利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べて6,037百万円減少の108,009百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,996	△8,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,314	△4,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,437	8,204
現金及び現金同等物の期末残高	19,666	14,822

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加等により、8,445百万円のマイナスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得等により、4,422百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得を行いながらも、社債等による資金調を行ったこと等により、8,204百万円のプラスとなりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、14,822百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の業績は、概ね想定していた範囲内で推移しているため、平成22年11月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第3四半期連結会計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ① 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失は25百万円増加しており、税金等調整前四半期純損失は223百万円増加しております。

- ② 第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。なお、この適用に伴う影響額は軽微であります。

- ③ 第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

- ④ 表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表)

前第3四半期連結会計期間において、固定負債の「その他」に含めて表示しておりました「長期借入金」は重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結会計期間の固定負債の「その他」に含まれる「長期借入金」は191百万円であります。

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「投資事業組合運用損」は営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「投資事業組合運用損」は100百万円であります。

前第3四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「投資事業組合運用損」は営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「投資事業組合運用損」は55百万円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では「少数株主損益調整前四半期純利益」、当第3四半期連結累計期間では「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,837	18,672
受取手形及び売掛金	58,628	57,210
有価証券	1,408	1,937
たな卸資産	13,089	10,050
繰延税金資産	1,883	2,158
その他	12,185	16,582
貸倒引当金	△361	△356
流動資産合計	100,671	106,255
固定資産		
有形固定資産	8,547	8,149
無形固定資産		
のれん	4,784	3,978
その他	888	810
無形固定資産合計	5,672	4,788
投資その他の資産		
投資有価証券	68,559	66,429
繰延税金資産	20,408	17,862
その他	23,831	21,562
貸倒引当金	△8,064	△7,494
投資その他の資産合計	104,734	98,359
固定資産合計	118,954	111,297
資産合計	219,626	217,552

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成22年12月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,925	26,046
短期借入金	23,139	19,793
1年内償還予定の社債	624	456
未払金	34,030	33,849
未払法人税等	559	1,813
賞与引当金	598	926
役員賞与引当金	21	40
その他	8,300	15,401
流動負債合計	97,201	98,328
固定負債		
社債	8,633	995
長期借入金	3,082	657
役員退職慰労引当金	174	165
繰延税金負債	40	9
その他	2,485	3,348
固定負債合計	14,416	5,176
負債合計	111,617	103,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,259	54,259
資本剰余金	25,293	25,293
利益剰余金	30,198	34,721
自己株式	△11,660	△9,875
株主資本合計	98,091	104,399
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,876	2,698
為替換算調整勘定	△28	△14
評価・換算差額等合計	1,848	2,684
新株予約権	1,231	1,089
少数株主持分	6,838	5,873
純資産合計	108,009	114,046
負債純資産合計	219,626	217,552

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	247,511	324,132
売上原価	136,137	176,375
売上総利益	111,373	147,756
販売費及び一般管理費	106,862	149,434
営業利益又は営業損失(△)	4,511	△1,677
営業外収益		
受取利息	168	232
受取配当金	372	498
投資有価証券売却益	128	9
負ののれん償却額	252	236
その他	517	519
営業外収益合計	1,440	1,496
営業外費用		
支払利息	272	446
持分法による投資損失	1,127	471
投資事業組合運用損	—	660
貸倒引当金繰入額	219	45
債権売却損	386	—
その他	615	490
営業外費用合計	2,620	2,115
経常利益又は経常損失(△)	3,330	△2,296
特別利益		
投資有価証券売却益	102	1,337
子会社株式売却益	180	84
持分変動利益	—	355
貸倒引当金戻入額	104	103
賞与引当金戻入額	105	55
事業譲渡益	2,044	113
固定資産売却益	—	53
段階取得に係る差益	—	98
負ののれん発生益	—	162
特別利益合計	2,537	2,364
特別損失		
固定資産除売却損	376	209
投資有価証券評価損	310	37
投資有価証券売却損	1,303	66
子会社株式売却損	10	457
持分変動損失	—	152
減損損失	632	68
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	197
事業整理損	84	—
その他	—	241
特別損失合計	2,718	1,432
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,149	△1,364

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	2,680	1,493
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	—	△487
法人税等調整額	△704	△1,873
法人税等合計	1,976	△867
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	—	△496
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△558	731
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,730	△1,228

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	81,726	114,263
売上原価	45,044	61,826
売上総利益	36,681	52,436
販売費及び一般管理費	36,113	52,580
営業利益又は営業損失(△)	568	△144
営業外収益		
受取利息	61	78
受取配当金	170	205
投資有価証券売却益	90	—
負ののれん償却額	84	78
その他	198	176
営業外収益合計	606	539
営業外費用		
支払利息	59	150
投資有価証券評価損	—	△505
投資有価証券売却損	—	64
持分法による投資損失	211	451
投資事業組合運用損	—	125
貸倒引当金繰入額	42	8
その他	190	104
営業外費用合計	503	398
経常利益又は経常損失(△)	670	△2
特別利益		
投資有価証券売却益	19	147
子会社株式売却益	11	27
持分変動利益	—	15
貸倒引当金戻入額	13	27
賞与引当金戻入額	5	—
事業譲渡益	155	6
特別利益合計	204	223
特別損失		
固定資産除売却損	88	15
投資有価証券評価損	130	4
投資有価証券売却損	519	46
子会社株式売却損	0	19
持分変動損失	—	17
減損損失	37	—
事業整理損	84	—
その他	—	9
特別損失合計	862	113
税金等調整前四半期純利益	12	107
法人税、住民税及び事業税	774	685
法人税等調整額	△717	△1,630
法人税等合計	57	△945
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,052
少数株主利益	50	317
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△95	735

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,149	△1,364
減価償却費	1,523	1,292
のれん償却額	386	566
負ののれん発生益	—	△162
貸倒引当金の増減額(△は減少)	872	298
営業投資損失引当金の増減額(△は減少)	△84	—
受取利息及び受取配当金	△541	△731
支払利息	272	446
子会社株式売却損益(△は益)	—	373
投資有価証券売却損益(△は益)	1,072	△1,279
投資有価証券評価損益(△は益)	310	37
持分法による投資損益(△は益)	1,127	471
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	197
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△98
固定資産除売却損益(△は益)	375	156
減損損失	632	68
事業譲渡損益(△は益)	△2,044	△113
売上債権の増減額(△は増加)	23,429	△669
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,497	△3,481
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	92	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,749	3,704
未払金の増減額(△は減少)	△4,424	△1,565
その他	△2,634	△3,198
小計	14,264	△5,052
利息及び配当金の受取額	587	873
利息の支払額	△241	△384
法人税等の支払額	△11,204	△11,036
法人税等の還付額	8,591	7,155
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,996	△8,445

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,160	△2,388
投資有価証券の取得による支出	△14,764	△14,283
投資有価証券の売却による収入	16,666	11,742
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△298	△1,732
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	109	402
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	495	633
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△765	△385
事業譲渡による収入	2,789	776
貸付けによる支出	△2,132	△2,867
貸付金の回収による収入	1,712	2,650
その他	△337	1,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,314	△4,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,446	2,908
長期借入れによる収入	234	4,069
長期借入金の返済による支出	△8	△1,018
社債の発行による収入	350	7,930
社債の償還による支出	—	△194
少数株主からの払込みによる収入	486	49
自己株式の取得による支出	△4,200	△1,785
配当金の支払額	△3,407	△3,263
少数株主への配当金の支払額	△136	△164
リース債務の返済による支出	△309	△326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,437	8,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△75
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,923	△4,739
現金及び現金同等物の期首残高	18,800	19,651
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△2,057	△89
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,666	14,822

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	法人事業 (百万円)	SHOP 事業 (百万円)	保険事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	36,856	42,352	2,510	6	81,726	—	81,726
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	447	386	4	—	838	(838)	—
計	37,304	42,739	2,515	6	82,564	(838)	81,726
営業利益又は営業損失(△)	65	876	244	△18	1,168	(600)	568

前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	法人事業 (百万円)	SHOP 事業 (百万円)	保険事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	109,533	130,055	7,909	12	247,511	—	247,511
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,326	1,095	43	—	2,466	(2,466)	—
計	110,860	131,151	7,952	12	249,977	(2,466)	247,511
営業利益又は営業損失(△)	4,703	2,622	△1,222	△192	5,910	(1,398)	4,511

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて主に国内における事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「法人事業」、「SHOP事業」、「保険事業」及び「メディア広告事業」の4つを報告セグメントとしております。

「法人事業」は、OA機器の販売、各種通信サービスの加入取次、法人向け移動体通信サービスの提供及びその他法人顧客向けサービスの提供を行っております。「SHOP事業」は、店舗にて携帯電話端末及び周辺機器等の販売を行っております。「保険事業」は、「第三分野」保険を中心とした保険代理店事業を行っております。「メディア広告事業」は、モバイル広告を中心とした広告枠の仕入れ及び販売とサイト運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人事業	SHOP 事業	保険事業	メディア 広告事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	46,038	64,829	2,134	1,244	114,246	16	114,263	—	114,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	293	441	16	33	784	—	784	(784)	—
計	46,331	65,270	2,150	1,278	115,031	16	115,047	(784)	114,263
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△2,078	2,480	186	94	682	△4	677	(822)	△144

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△822百万円は、セグメント間取引消去△31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△791百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人事業	SHOP 事業	保険事業	メディア 広告事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	130,697	182,905	6,543	3,792	323,938	193	324,132	—	324,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,066	1,188	26	90	2,371	—	2,371	(2,371)	—
計	131,763	184,093	6,569	3,882	326,309	193	326,503	(2,371)	324,132
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△6,131	5,732	952	329	882	△21	861	(2,539)	△1,677

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△2,539百万円は、セグメント間取引消去△65百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,474百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、平成22年6月15日及び平成22年11月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得した結果、自己株式が1,785百万円増加致しました。

(7) 後発事象に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

当社は、平成23年1月17日開催の取締役会決議に基づき、以下のとおり社債を発行いたしました。

1. 社債の銘柄	第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
2. 発行総額	5,500百万円
3. 各社債の金額	100百万円
4. 社債の形式	無記名式利札付に限る
5. 利率	年3.00%
6. 発行価格	額面100円につき金100円
7. 償還金額	額面100円につき金100円
8. 払込期日	平成23年2月7日
9. 償還期限	平成25年8月7日（2年6ヶ月債）
10. 利払日	毎年2月7日及び8月7日の2回
11. 資金用途	借入金返済資金
12. 主幹事証券会社	野村証券(株)
13. 財務代理人	(株)みずほコーポレート銀行
14. 振替機関	(株)証券保管振替機構
15. 取得格付	BBB（(株)日本格付研究所）